平成24年３月期　第２四半期決算短信［日本基準］（連結）

平成23年11月９日

上場会社名	株式会社チノー	上場取引所	東
コード番号	6850	ＵＲＬ	http://www.chino.co.jp
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）苅谷　嵩夫	
問合せ先責任者	（役職名）専務取締役管理本部長兼社長室長	（氏名）斉藤　卿是	ＴＥＬ　(03) 3956－2115
四半期報告書提出予定日	平成23年11月14日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	8,736	21.1	426	177.8	426	307.5	148	―
23年３月期第２四半期	7,215	24.9	153	―	104	―	△66	―

（注）包括利益　24年３月期第２四半期　45百万円（－%）　23年３月期第２四半期　△180百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年３月期第２四半期	3	45	―	―
23年３月期第２四半期	△1	56	―	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	20,154	13,342	63.4
23年３月期	20,527	13,541	62.7

（参考）自己資本　24年３月期第２四半期　12,776百万円　23年３月期　12,872百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年３月期	－	0　00	－	5　00	5　00
24年３月期	－	0　00			
24年３月期（予想）			－	7　00	7　00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,800	8.7	1,030	33.1	1,000	39.4	460	34.0	10	71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

４．その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

新規　－社　　除外　－社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

(注)詳細は、添付資料P. ４「2. サマリー情報（その他）に関する事項　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理を適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
② ①以外の会計方針の変更　：　有
③ 会計上の見積りの変更　：　無
④ 修正再表示　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期２Ｑ	47,800,580株	23年３月期	47,800,580株
② 期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	4,869,674株	23年３月期	4,863,472株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期２Ｑ	42,934,289株	23年３月期２Ｑ	42,955,603株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 12
４．補足情報 …… 14
（１）生産実績 …… 14
（２）受注実績 …… 14
（３）販売実績 …… 14

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災及び原発被災による被害拡大の影響がありましたものの、サプライチェーンの早期復旧や電力不足の克服で生産活動や個人消費に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、企業の設備投資は抑制傾向が続き、また、急激な円高の進行により外需も伸び悩むなど厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなかで当社は新たな中期経営計画をスタートさせ、当年度を当企業グループを高収益企業にする基盤整備の年と位置づけて積極的な施策を推進してまいりました。

グループ会社、生産拠点、生産設備を含めたチノーグループとして全体最適の効率の良い体制を築くべく、久喜事業所からの移転で全計装が集結した藤岡事業所に計装工場を増床し、久喜事業所においては温度センサの一貫生産ラインを構築しました。さらに、子会社の東京精工株式会社を当社に合併し、放射温度計を中核とする商品分野において、技術開発や販売面のシナジーを高めるとともに、他のグループ各社についてもミッションを明確にして事業の重複を避け、情報、管理、物流等の連携を密にしてコスト削減と業務改革に取り組みました。

当第２四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は8,736百万円(前年同四半期比21.1%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は426百万円（前年同四半期比177.8%増）、経常利益は426百万円（前年同四半期比307.5%増）、四半期純利益は148百万円（前年同四半期は四半期純損失66百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は3,282百万円(前年同四半期比15.5%増）、セグメント利益（営業利益）は562百万円（前年同四半期比41.6%増）であります。

②計装システム

売上高は2,993百万円（前年同四半期比37.5%増）、セグメント利益（営業利益）は263百万円（前年同四半期比79.2%増）であります。

③センサ

売上高は2,031百万円（前年同四半期比16.7%増）、セグメント利益（営業利益）は288百万円（前年同四半期比12.9%増）であります。

④その他

修理・サービス等の売上高は429百万円（前年同四半期比5.7%減）で、セグメント利益（営業利益）は64百万円（前年同四半期比52.9%増）であります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて373百万円減少し、20,154百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ408百万円減少し、13,554百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加478百万円、受取手形及び売掛金の減少301百万円、有価証券の減少699百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し、6,599百万円となりました。このうち有形固定資産は減価償却費の計上等により52百万円減となりました。投資その他の資産は投資有価証券の増加93百万円がありました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて175百万円減少し、6,811百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、4,856百万円となりました。主な減少要因は支払手形及び買掛金の減少20百万円等であります。

固定負債は、退職給付引当金等の減少があり前連結会計年度末に比べ82百万円減少し1,955百万円となりました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ198百万円減少し、13,342百万円となりました。剰余金の配当214百万円による減少等の結果であります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期の730百万円の収入と比べ522百万円減少し208百万円の収入となりました。税金等調整前四半期純利益323百万円、減価償却費322百万円等が主な増加要因であります。一方、減少要因としては、たな卸資産の増加524百万円であります。

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期の1,352百万円の支出と比べ1,472百万円増加し120百万円の収入となりました。主な収入は有価証券・投資有価証券の売却・償還700百万円、主な支出は有形固定資産の取得443百万円、投資有価証券の取得81百万円等です。

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期の187百万円の支出と比べ136百万円多い324百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第２四半期連結会計期間末残高は、前第２四半期連結会計期間末残高3,134百万円に比べ493百万円増加し、3,628百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年５月13日に公表いたしました平成24年３月期の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

また、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社における、材料の評価方法は、従来、先入先出法によっておりましたが、当連結会計年度より移動平均法に変更しております。これは、生産管理システムの見直しを契機に、リアルタイムで原価管理を実施、また価格変動による損益計算書への影響を平準化することにより、より適正なたな卸資産の評価及び期間損益の計算を行うことが目的であります。

当該会計方針の変更は、前連結会計年度まで材料の評価方法について先入先出法を採用しており、システムで保存している単価記録は順次更新され移動平均法による単価情報の入手は実務上不可能なため、前連結会計年度末の材料の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。

これによる、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,746,216	3,638,491
受取手形及び売掛金	5,344,620	5,043,320
有価証券	1,098,794	399,407
商品及び製品	976,145	1,028,230
仕掛品	886,986	906,458
原材料及び貯蔵品	1,293,842	1,700,537
その他	624,302	845,410
貸倒引当金	△8,638	△7,675
流動資産合計	13,962,269	13,554,181
固定資産		
有形固定資産	3,557,087	3,504,526
無形固定資産		
のれん	265,905	238,015
その他	316,153	307,986
無形固定資産合計	582,058	546,002
投資その他の資産		
その他	2,426,582	2,549,421
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,426,581	2,549,420
固定資産合計	6,565,726	6,599,948
資産合計	20,527,996	20,154,130
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,113,236	3,092,383
短期借入金	759,209	671,872
未払法人税等	158,177	171,041
賞与引当金	304,996	340,489
その他	613,813	580,697
流動負債合計	4,949,433	4,856,483
固定負債		
退職給付引当金	1,490,073	1,427,272
役員退職慰労引当金	170,399	179,537
その他	376,919	348,309
固定負債合計	2,037,392	1,955,118
負債合計	6,986,826	6,811,602

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,072,140	4,072,140
利益剰余金	6,285,935	6,214,626
自己株式	△1,456,307	△1,457,691
株主資本合計	13,193,796	13,121,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56,452	△39,681
為替換算調整勘定	△265,221	△304,910
その他の包括利益累計額合計	△321,673	△344,591
少数株主持分	669,047	566,015
純資産合計	13,541,170	13,342,527
負債純資産合計	20,527,996	20,154,130

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	7,215,023	8,736,968
売上原価	4,899,431	5,941,099
売上総利益	2,315,592	2,795,868
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	904,233	952,505
賞与引当金繰入額	140,044	168,945
退職給付費用	73,267	69,173
役員退職慰労引当金繰入額	16,767	31,904
研究開発費	150,531	216,810
貸倒引当金繰入額	－	457
その他	877,305	929,870
販売費及び一般管理費合計	2,162,150	2,369,667
営業利益	153,442	426,201
営業外収益		
受取利息	6,818	14,241
受取配当金	8,255	10,503
その他	27,813	30,693
営業外収益合計	42,887	55,438
営業外費用		
支払利息	6,673	5,499
寄付金	2,470	11,841
為替差損	62,624	22,154
その他	19,797	15,269
営業外費用合計	91,566	54,764
経常利益	104,763	426,874
特別利益		
投資有価証券償還益	－	7,636
その他	3,444	845
特別利益合計	3,444	8,481
特別損失		
固定資産処分損	4,969	73,920
退職給付制度終了損	－	27,592
その他	110,089	9,879
特別損失合計	115,059	111,392
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△6,851	323,964
法人税等	48,409	136,416
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△55,260	187,547
少数株主利益	11,733	39,363
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△66,993	148,184

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△55,260	187,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,505	16,770
為替換算調整勘定	△115,945	△159,126
その他の包括利益合計	△125,451	△142,355
四半期包括利益	△180,711	45,192
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192,444	125,267
少数株主に係る四半期包括利益	11,733	△80,074

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△6,851	323,964
減価償却費	304,735	322,874
のれん償却額	27,889	27,889
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,408	△962
受取利息及び受取配当金	△15,073	△24,744
支払利息	6,673	5,499
投資有価証券評価損益（△は益）	105,860	8,934
売上債権の増減額（△は増加）	1,071,158	225,746
たな卸資産の増減額（△は増加）	△359,885	△524,002
仕入債務の増減額（△は減少）	△369,673	27,117
その他	54,019	△52,731
小計	816,442	339,585
利息及び配当金の受取額	15,246	24,471
利息の支払額	△6,673	△5,499
法人税等の支払額	△94,098	△149,710
営業活動によるキャッシュ・フロー	730,917	208,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△205,487	△443,359
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,109,982	△81,089
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	265,542	700,000
貸付金の回収による収入	3,696	4,330
その他	△79,452	△109,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,115,682	120,116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	7,764	△80,175
長期借入金の返済による支出	△3,000	△3,000
自己株式の取得による支出	△1,074	△1,383
配当金の支払額	△175,195	△217,052
少数株主への配当金の支払額	△16,486	△22,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,991	△324,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66,310	△62,117
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△639,066	△57,724
現金及び現金同等物の期首残高	4,010,355	3,686,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,371,288	3,628,491

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	計測制御機器	計装システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,842,954	2,176,684	1,739,944	6,759,582	455,441	7,215,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	2,842,954	2,176,684	1,739,944	6,759,582	455,441	7,215,023
セグメント利益	396,938	147,142	255,608	799,688	42,041	841,730

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	799,688
「その他」の区分の利益	42,041
全社費用（注）	△688,288
四半期連結損益計算書の営業利益	153,442

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（注）	合計
	計測制御機器	計装システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,282,376	2,993,973	2,031,211	8,307,561	429,406	8,736,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	3,282,376	2,993,973	2,031,211	8,307,561	429,406	8,736,968
セグメント利益	562,221	263,617	288,704	1,114,543	64,290	1,178,834

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,114,543
「その他」の区分の利益	64,290
全社費用（注）	△752,633
四半期連結損益計算書の営業利益	426,201

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

連結子会社の吸収合併

当社は、平成23年11月９日開催の取締役会において、平成24年４月１日を期日として、当社100%子会社である株式会社山形チノーを吸収合併することを決議いたしました。その概要は以下のとおりであります。

１．合併に関する事項

(1) 当該吸収合併の相手会社についての事項

①商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

（平成23年３月31日現在）

商号	株式会社山形チノー
本店の所在地	山形県天童市大字乱川1515
代表者の氏名	代表取締役社長　位田敏和 （平成17年５月26日に就任）
資本金の額	100,000千円
純資産の額	1,431,794千円
総資産の額	2,106,409千円
事業の内容	計測機器、センサ等電子応用機器の製造

(2) 当該吸収合併の目的

株式会社山形チノーは計測機器、センサ等電子応用機器の製造を主な事業としており、当社の100%子会社であります。このたび、当社グループの経営資源の集中と組織の効率化を図るため、当該子会社を吸収合併することといたしました。

(3) 当該吸収合併の方法、吸収合併消滅会社となる会社の株式１株又は持分に割り当てられる吸収合併存続会社となる会社の株式の数その他の財産の内容（以下「吸収合併に係る割当ての内容」という。）及びその他の吸収合併契約の内容

①吸収合併の方法

当社を存続会社とし、株式会社山形チノーを消滅会社とした吸収合併であります。

②吸収合併に係る割当ての内容

当社は、株式会社山形チノーの全株式を所有しており、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

(4) 当該吸収合併に係る割当ての内容の算定根拠

該当事項はありません。

(5) 吸収合併後の存続会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容（平成23年３月31日現在）

商号	株式会社チノー
本店の所在地	東京都板橋区熊野町32番８号
代表者の氏名	代表取締役社長　苅　谷　嵩　夫
資本金の額	4,292,027千円
純資産の額	11,161,054千円
総資産の額	17,155,200千円
事業の内容	計測制御機器の製造・販売、計装工事

(6) 実施する会計処理の概要

本合併は「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準委員会 改正 平成20年12月26日 企業会計基準第21号）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準委員会 最終改正 平成20年12月26日 企業会計基準適用指針第10号）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行なう予定であります。

４．補足情報

（１）生産実績

当第２四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	3,581,770	＋16.6
計装システム	2,398,476	＋75.6
センサ	1,759,475	＋16.9
その他	154,834	△4.5
合計	7,894,555	＋29.3

(注) １　セグメント間取引については、相殺消去しております。
２　金額は、見込販売価額で示してあります。
３　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第２四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	3,323,866	＋15.2	656,451	＋25.3
計装システム	3,117,182	△6.8	1,965,610	△13.9
センサ	2,161,105	＋17.3	585,216	＋50.7
その他	410,233	△11.5	76,692	△11.2
合計	9,012,386	＋5.6	3,283,967	＋0.1

(注) １　セグメント間取引については、相殺消去しております。
２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第２四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	3,282,376	＋15.5
計装システム	2,993,973	＋37.5
センサ	2,031,211	＋16.7
その他	429,406	△5.7
合計	8,736,968	＋21.1

(注) １　セグメント間取引については、相殺消去しております。
２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。